

週刊新潮

「新しい生活様式」を生きる「ちから」がわいてくる

夏の「キーワード」企画

連合広告企画

2020年8月6日発売号
(夏季合併増大号)

(株)新潮社 広告部

【企画主旨】

新型コロナウイルス感染拡大にともなう緊急事態宣言が相次いで解除され、私たちの暮らしは「新しい生活様式」のもと次なるステージを迎えました。

経験したことのない状況下にある私たちは今こそちからを合わせ、この時代を生き抜くための英知を結集することが必要です。各界の第一人者によるちから強いメッセージを「キーワード」に凝縮し、ご協賛企業様のメッセージと併せて新生活を切り拓く大いなる活力をお届けする——これが本企画のねらいです。

本企画は「週刊新潮」8月6日発売号に掲載いたします。帰省や行楽、文化活動などが徐々に再開される一方、信頼できる情報を求める人々の眼はより厳しくなっていることでしょう。当該号は通常よりも部数を増やし、2週間の販売期間が設定されています。本企画のメッセージはより多くの人々の目に触れるだけでなく、読者の心の中に深く浸透すると考えております。

是非、ご出稿ご検討いただけますと幸いです。よろしくごお願い申し上げます。

【本企画の誌面イメージ】

<キーワード> <著名人コラム> <純広（またはタイアップ広告）> の3要素で構成。広告内容は、企業理念や活動方針、商品紹介などどのような内容でも対応いたします。広告内容をメッセージにのせて深く読者に届けます。

企業や商品のメッセージを純広でダイレクトに訴求します。

純広

【著名人コラム】
その種子は羽をもち、世界の田舎を飛ぶために変化した。種の飛散のための進化の奇跡。羽を広げ、自由に飛ぶ能力を身にまとい、空を飛ぶ。

つよく、
しなやかに、
あしたへ。

世界に向けて。未来に向けて。
食の分野にとどまらない、
さまざまな可能性を切り拓く。
「グローバルな多角的企業」として、
私たちは挑戦をつづけます。

NIPPON

ホームページで、アツクイに注した私たち日本製粉の思いをご紹介します。

日本製粉 検索

明日への活力をまわす 1024-7777

井村雅代
アグレッシブ

キーワード

企業イメージや商品
と関連の深い言葉を選定します。

著名人コラム

キーワードに関連する
コラムを、800
字程度でまとめま
す。

料金 2,500,000円（制作費込み）

【キーワードの選定】

広告内容をお伝えいただき、そこから連想される企業・製品のイメージに関連する言葉を選定します。

社名、製品名等の固有名詞ではなく、一般名詞から選定します。

(例) 鼓動、共生、挑戦、前進、信頼、飛躍、等

オリエンを受けてからキーワード案を提出しますが、希望するワードがある場合は事前にご提示下さい。

【著名人の選定】

新潮社と縁の深い著名人（文化人・アスリートなど）の中から、企業や製品のイメージに関連する方を選定します。

オリエンを受けてから人選案を提出しますが、希望する文化人がいる場合は事前にご提示下さい。

三菱商事様×岡田武史（志を持つ）

キーワード

志を持つ

岡田武史
（元サッカー選手）

元サッカー選手として活躍した岡田武史氏は、現在は障がい者スポーツの発展を応援する活動に取り組んでいます。障がい者スポーツの普及を目的として、障がい者サッカーチームを立ち上げ、指導者として活躍しています。また、障がい者スポーツの魅力を多くの人に伝えるため、講演やワークショップなどを行っています。

「障がい者スポーツは、単にスポーツを楽しむだけでなく、障がい者の方と交流し、お互いを理解し合う貴重な機会です。また、障がい者の方の自信や自立を促す効果も大きいと思います。私も、障がい者の方と一緒に関われることが、とても楽しいです。」

岡田氏は、障がい者スポーツの発展を応援するために、三菱商事と連携し、障がい者サッカーチームの運営や指導に協力しています。また、障がい者スポーツの魅力を多くの人に伝えるため、講演やワークショップなどを行っています。

「障がい者スポーツは、単にスポーツを楽しむだけでなく、障がい者の方と交流し、お互いを理解し合う貴重な機会です。また、障がい者の方の自信や自立を促す効果も大きいと思います。私も、障がい者の方と一緒に関われることが、とても楽しいです。」

キーワード企画の掲載事例

野村グループ様×池井戸潤（自己ベスト）

キーワード

自己ベスト

池井戸潤
（小説家）

小説家として活躍する池井戸潤氏は、自身の経験に基づいた小説を数多く執筆しています。代表作には、『沈黙の艦隊』、『新選組』などがあります。また、自身の経験に基づいた小説を数多く執筆しています。また、自身の経験に基づいた小説を数多く執筆しています。

「自己ベストは、自分がこれまで達成してきた最高の成果のことです。それは、自分自身にとっての大きな励みになります。また、自己ベストを達成することは、自分自身の成長や努力の証でもあります。これからも、自己ベストを達成するために努力を続けていきます。」

池井戸氏は、自身の経験に基づいた小説を数多く執筆しています。また、自身の経験に基づいた小説を数多く執筆しています。また、自身の経験に基づいた小説を数多く執筆しています。

J T様×梅沢富美男（挑戦）

キーワード

挑戦

梅沢富美男
（タレント）

タレントとして活躍する梅沢富美男氏は、様々な番組やイベントに出演しています。また、自身の経験に基づいた小説を数多く執筆しています。また、自身の経験に基づいた小説を数多く執筆しています。

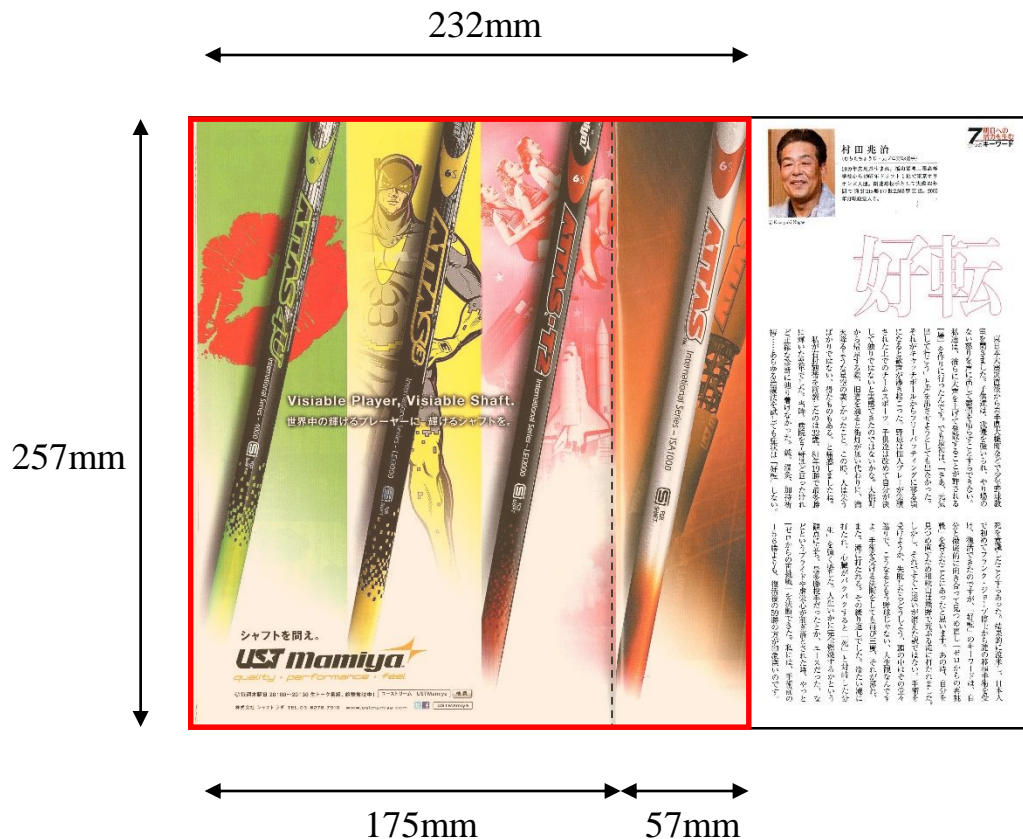
「挑戦は、自分自身にとっての大きな成長の機会です。また、挑戦を通じて、自分自身の可能性を最大限に引き出すことができます。また、挑戦を通じて、自分自身の可能性を最大限に引き出すことができます。また、挑戦を通じて、自分自身の可能性を最大限に引き出すことができます。」

梅沢氏は、自身の経験に基づいた小説を数多く執筆しています。また、自身の経験に基づいた小説を数多く執筆しています。また、自身の経験に基づいた小説を数多く執筆しています。

「夏のキーワード企画」ご協賛企業様（「キーワード企画」は2012年より毎年実施しております）

【2018年・夏】	「支える力」	中江有里氏	（三井住友銀行様）
	「勇気をくれたエール」	杉浦正則氏	（日本生命様）
	「とどけ！熱いエネルギー」	河瀬直美氏	（JXTGエネルギー様）
	「未来のあたりまえ」	小宮山悟氏	（大日本印刷様）
	「自分の色を出す」	五代目吉田玉助氏	（日本製紙様）
【2019年・夏】	「輝けるツール」	木村敬一氏	（東京ガス様）
	「殻を破る」	堀越正己氏	（日本製紙様）
	「未来のあたりまえ」	末続慎吾氏	（大日本印刷様）
	「大切な絆をつなげよう」	佐藤多佳子氏	（日本生命様）
	「声援」	中井美穂氏	（三井住友銀行様）
	「飛躍」	野村忠宏氏	（みずほ銀行様）

【純広部分 制作上の注意点】

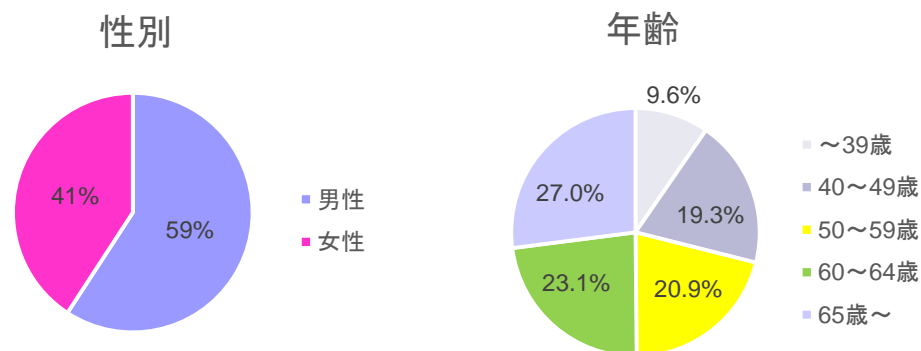


- ※断裁されてはいけない写真や文字等は、
天地5mm以上、左右10mm以上内側へ入れて下さい。
また、センターから左右10mm以内へは入れないで下さい。

【媒体プロフィール】



- 発売日： 毎週木曜日
- 発行部数： 390,020部 (一般社団法人日本雑誌協会 2019年1月～3月)
- 全国に配本 (比率は人口比とほぼ同じ)
- 読者属性



創刊： 1956年2月 (今年64周年)
出版社系ジャーナリズム誌
としては日本で最初に創刊

編集長： 宮本太一 (2017年2月より)

<おもな購読者層 (上位3つ) >

- ① サラリーマン
- ② 主婦 (夫) ・リタイア層
- ③ 自営業

【週刊新潮の歴史】

1956年に創刊された『週刊新潮』。非新聞社系ジャーナリズム雑誌として創刊されて以降、今日まで常にトップランナーとしての言論活動をおこなってきました。政治・事件・文化風俗などへの徹底した取材から生み出された記事は、長年多くの読者に信頼され愛されてきました。また『週刊新潮』の記事をきっかけに、世論を大きく動かすような展開となった事件も数多くあり、媒体が持つ社会的影響力の強さを物語っています。

またもうひとつの側面は、老舗文芸出版社としての強みを凝縮し読者に文化を提供してきた雑誌であることです。かつては山本周五郎や池波正太郎といった大物時代小説、松本清張や山崎豊子といったノンフィクション文学など、良質な作品を読者に提供してきました。

【読者の傾向】

週刊誌と聞くと読んだらすぐに終わり、というイメージがあるかもしれませんが、弊社が行った愛読者調査（2010年実施）によると、『週刊新潮』は、

「自宅でじっくりと読む」 「購入してから4～5日かけて読む」

「毎週購読している」 「最初から最後まで記事を読む」

という傾向が見られました。

【スケジュール】

2020年	6/12 (金)	申込締切
		キーワード、文化人についての打合せ／ご要望
	6/下旬	キーワード、著名人の選出
	6/下旬～	コラム取材
	7/中旬	コラム原稿の確認
	7/16 (木)	純広入稿締切
	7/下旬	色校確認
	7/30 (木)	校了
	8/6 (木)	掲載

【料金】 **2,500,000円 (制作費・出演費込み)**